

[協同学習のルール]

- 聞く作法
 - 1) 相手の方に体を向けて聞く
 - 2) 相手の話を分かろうとして聞く
 - 3) 相手の話に反応しながら聞く
- 話す作法
 - 1) 相手の方に体を向けて話す
 - 2) 相手に分かることばで話す
 - 3) 相手の表情を見ながら話す
- ◎分かったことを仲間に話すことで、理解が深まる
- ◎「学び合い」は「聞き合い」から始まる→「受動性」が学び合いの基礎
 - 話を聞かない人は成長しない
 - 独りよがりの自己主張は、みんなに嫌われる
 - 「人の話を聞いていいことがあった」という経験が大切
- ◎話が止まったとき、続きを助けてくれる雰囲気を作る
- ◎人に依存しながら生きていける人が幸せ→「依存的な自立」→頼ったらいいいことがあった

[授業デザイン]

1. 日 時 平成〇〇年〇〇月〇〇日（曜日） 〇校時 [〇〇 : 〇〇 ~ 〇〇 : 〇〇]
2. 学 級 〇年〇組 〇〇名（男子 〇〇名、女子 〇〇名）
3. 本時のテーマ 「題材、課題など」
4. その単元の指導計画における位置づけ
5. 本時のねらい 「生徒に何をさせたいのか」
6. 本時のおおまかな流れ（例）
 - (1) 導入、課題把握
 - (2) 生徒の活動
 - ・進め方
 - ・活動の隊形 （個人・グループ・全体）
 - ・予想される生徒の反応やつまづき